

本製品を正しくご使用いただくために、必ずこの説明書をお読みください。各説明書は、使用開始後も大切に保管しておいてください。

パッケージの内容を確認します

ご使用前に、次のものが同梱されていることをご確認ください。
なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

☐ 製品本体	1台	☐ 壁/天井設置用金具	1枚
☐ 専用アンテナ	4本	☐ セキュリティカバーセット	1セット
☐ 専用シリアルケーブル	1本	☐ クイックセットアップガイド	1枚
☐ マグネットセット	4個	☐ 安全にお使いいただくために	1枚
☐ マグネット用プレート	2枚	☐ ELECOMロゴステッカー	1枚
		☐ シリアルシール	2枚

※本製品にはACアダプターは付属しておりません。
IEEE802.3at対応PoE給電機器をご使用いただくか、別売のACアダプター WAB-EX-ADP1をお買い求めください。

主な仕様と工場出荷時の設定値

■主な仕様

データ転送速度(有線)	10Mbps : IEEE802.3(10Base-T) 100Mbps : IEEE802.3u(100Base-TX) 1000Mbps : IEEE802.3ab(1000Base-T) (自動判別Auto MDI/MDI-Xに対応)
データ転送速度(無線)	IEEE802.11ac:最大1,733Mbps IEEE802.11n:最大400Mbps(2.4GHz)/最大800Mbps(5GHz) IEEE802.11g:最大54Mbps IEEE802.11b:最大11Mbps IEEE802.11a:最大54Mbps
消費電力(最大)	25.5W
環境条件/動作時温度	-10℃(稼働状態)/0℃(電源投入時)~40℃(天井設置:セキュリティカバー有り)/45℃(天井設置:セキュリティカバー無し)/50℃(壁面設置)
環境条件/動作時湿度	10~90%(結露なきこと)
外形寸法(突起部含まず)	製品本体:幅183mm×奥行183mm×高さ33mm セキュリティカバー:幅199mm×奥行252mm×高さ34mm
質量	約793g(本体のみ) 約1,337g(セキュリティカバー+セキュリティカバー設置用金具含む)

■設定ユーティリティの工場出荷時の設定値

管理アカウント	ユーザー名: admin パスワード: admin (全て 半角文字で入力してください)
---------	--

！ セキュリティ確保のため、初期値からの変更をおすすめいたします。

■有線 LAN の工場出荷時設定値 (初期値)

LAN 側 IP アドレス	192.168.3.1 (DHCPサーバーからIPアドレスを取得しない場合)※
---------------	---

※DHCP サーバーから IP アドレスを取得した場合は、その IP アドレスを利用します。

■無線 LAN の工場出荷時設定値 (初期値)

5GHz(11a/n/ac) 規格 接続用	2.4GHz (11b/g/n) 規格 接続用
無線設定: 無効 SSID: elecom5gXX-XXXXXX 認証設定: 無効 暗号化: 無効 有効SSID数: 1 ブロードキャストSSID: 有効 モード: a/n/ac	無線設定: 無効 SSID: elecom2gXX-XXXXXX 認証設定: 無効 暗号化: 無効 有効SSID数: 1 ブロードキャストSSID: 有効 モード: b/g/n

※ 1 XXXXXX は、任意の数字と英文字 (0~9、a~f) です。

シリアル番号、MACアドレスについて

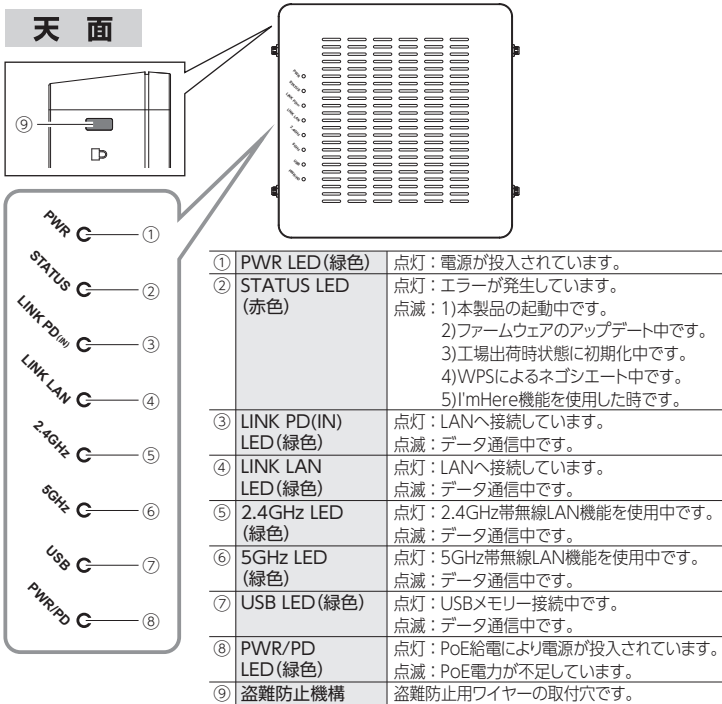
デバイスラベル上に記載されています。

デバイスラベル



本体底面に貼り付けられたデバイスラベルで、確認できます。

各部の名称とはたらき



前面	
① DCジャック	専用ACアダプター(WAB-EX-ADP1(別売))を接続します。*1
② PD(IN) Ether ポート	上位の回線を接続します。
③ LAN Ether ポート	下位の回線を接続します。
④ USB ポート	USBメモリーを接続します。
⑤ USB イジェクトボタン	USBメモリーをイジェクトします。(3秒以上押す)
⑥ コンソールポート	コマンドラインからの設定用です。*2
⑦ リセットボタン	工場出荷時状態に初期化します。(5秒以上押す)
⑧ WPS ボタン	WPSを使用して無線LAN接続をします。(1秒以上押す)
⑨ メンテナンスポート	保守用です。使用しません。*3
⑩ アンテナ端子	付属の専用アンテナを取り付けます。法律に抵触する可能性があるため付属専用アンテナ以外は接続しないでください。

※ 1 PoE給電機器使用の場合は、ACアダプターは不要です。IEEE802.3atに対応する給電機器をご利用ください。
※ 2 専用ケーブル以外は接続しないでください。ご使用になる時はシールを剥がしてご利用ください。
※ 3 シールを剥がさないでください。LANケーブルを接続しないでください。

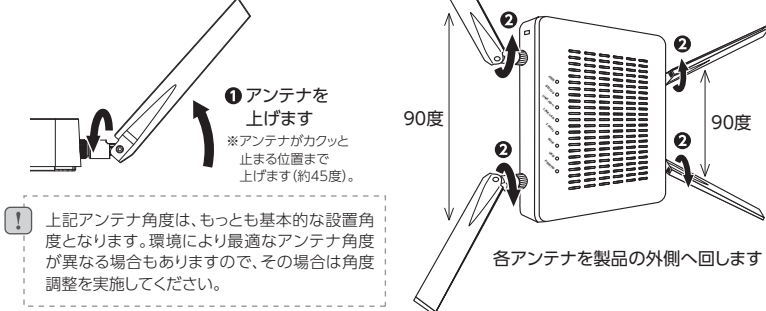
■アンテナの取り付け方

専用アンテナ4本を、アンテナ端子に差し込み(①)時計回りに回して(②)取り付けてください。

- ！
- ・専用アンテナは2.4GHz/5GHz共通です。
 - ・故障の原因となりますので、アンテナ端子を手で触れないでください。
 - ・アンテナ・本体の破損する恐れがあるので、締めすぎないようにしてください。

■アンテナの推奨角度

アンテナを上げ(①)、アンテナ同士が90度の角度になるよう製品の外側へ回してください(②)。



！ 上記アンテナ角度は、もっとも基本的な設置角度となります。環境により最適なアンテナ角度が異なる場合もありますので、その場合は角度調整を実施してください。

設置について

本製品は横置きのほか、壁面/天井の取り付けにも対応しています。
本説明ではデザインの都合上、アンテナが取り付けられていない図で説明を行いますが、実際の設置時は、アンテナを付けた後で、取り付けをしてください。

本製品を壁面に取り付ける

■マグネットによる設置の方法

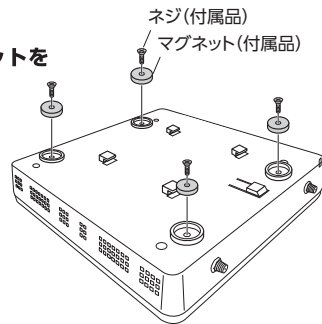
1 本体背面に本製品に付属のマグネットをネジで取り付けます。

磁性体性の壁面へ取り付け可能です。

！ 本体の破損する恐れがあるので、締めすぎないようにしてください。

2 磁性体性の壁面へ取り付けます。

！ 取り付け後、本製品が落下しないことを確認してください。



■マグネット用プレートによる設置の方法

マグネット用プレートを使用し、磁性体以外の壁面へ取り付けすることができます。

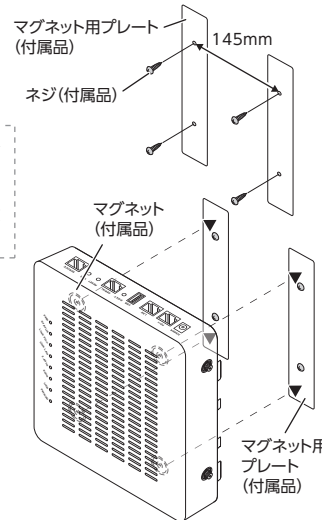
1 「■マグネットによる設置の方法」に従って、本体背面にマグネットを取り付けます。

2 マグネットの位置に合わせて、付属の木ネジでマグネット用プレートを壁へ取り付けます。

- ！
- ・マグネット用プレートを取り付けるには、付属の木ネジ(皿型3.3mm径・全長16.2mm)を使用してください。
 - ・マグネット用プレートは145mm間隔で設置してください。

3 本製品の背面のマグネットをマグネット用プレートに貼り付けて設置します。

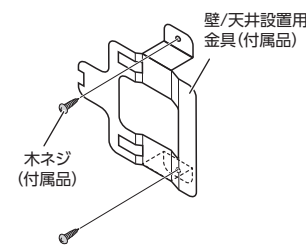
！ 取り付け後、本製品が落下しないことを確認してください。



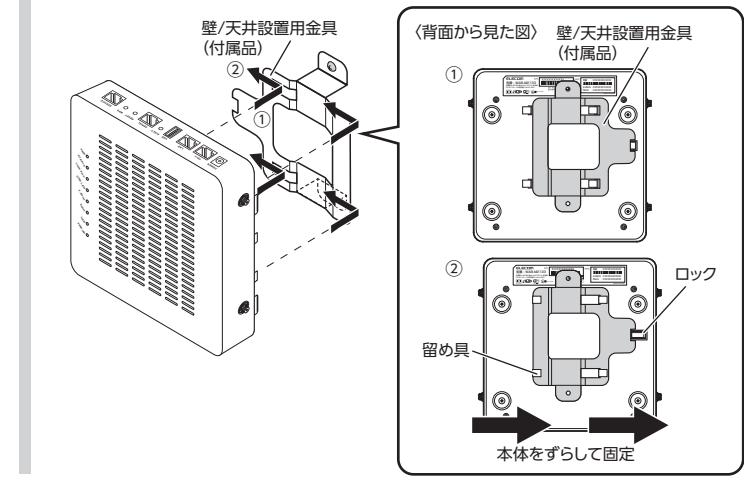
■セキュリティカバーなしで設置する方法

1 付属の木ネジで壁/天井設置用金具を壁/天井へ取り付けます。

！ 壁/天井設置用金具を取り付けるには、付属の木ネジ(ナベ型2.9mm径・全長22mm)を使用してください。



2 本製品の背面の留め具を引っ掛けるように壁/天井設置用金具にはめて(①)、本製品を左方向(LEDのある方向)にずらして固定します(②)。

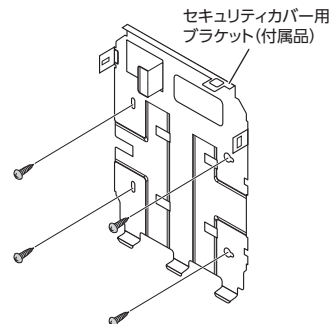


■セキュリティカバー付きで設置する方法

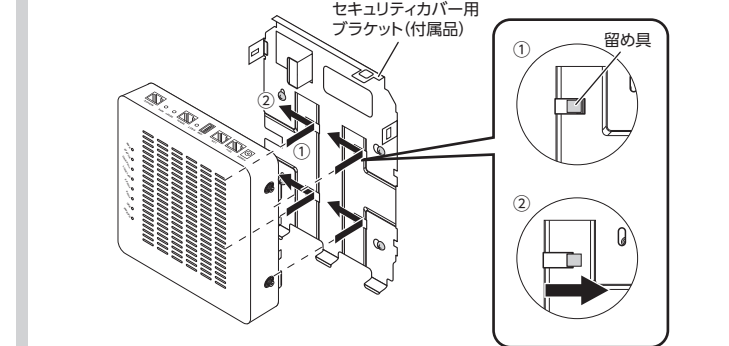
本製品には、専用のセキュリティカバーが付属しています。
セキュリティカバーを取り付けることにより、盗難やケーブルを抜く・刺すなどのいたずらの防止になります。

1 セキュリティカバー用ブラケットを付属の木ネジを使い、壁/天井へ取り付けます。

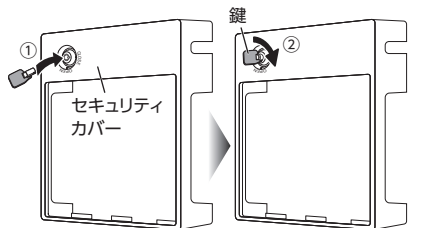
！ セキュリティカバー用ブラケットを取り付けるには、付属の木ネジ(ナベ型2.9mm径・全長22mm)を使用してください。



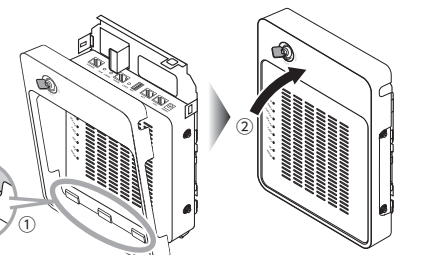
2 本製品の背面の留め具をセキュリティカバー用ブラケットにはめて(①)、本製品を左方向(LEDのある方向)にずらして固定します(②)。



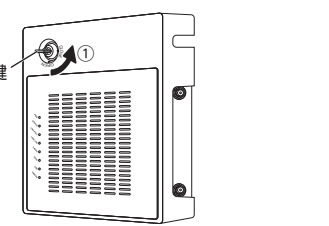
3 セキュリティカバーに付属の鍵を鍵穴に挿入し(①)、鍵をOPEN側に向けます(②)。



4 セキュリティカバーの下側内部のツメをセキュリティカバー用ブラケットの金具に引っ掛け(①)、本製品にセキュリティカバーを装着します(②)。



5 鍵をCLOSE側に回し(①)、セキュリティカバーをロックします。



6 鍵を鍵穴から引き抜きます。

！ セキュリティカバー・本体の取り外しはエレコムホームページからダウンロードした詳細マニュアルを参照してください。

・本書の著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
・本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することを禁止させていただきます。
・本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡願います。
・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
・実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
・本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
・本書に掲載されている商品名/社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。
・本製品は、GNU General Public Licenseに基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundationが定めたGNU General Public Licenseの条件に従って、これらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思われるが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証も行いません。詳細については、弊社ホームページを参照下さい。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、弊社ホームページを参照下さい。尚、配布時に発生する費用は、お客様のご負担になります。

セットアップ手順

STEP 1

本製品の設定に使用するパソコンを接続する

本紙では本製品をスタンドアローン環境で設定する場合の手順で説明しています。

DHCP環境で設定される場合は、初期導入向けのアクセスポイント検索ツールもご用意しております。

詳しくは下記ページの「マニュアル」→「【初期導入向け検索ツール】法人向け無線アクセスポイント検索ツール WAB-MAT Lite」をご確認ください。

<https://www.elecom.co.jp/products/WAB-MAT.html>

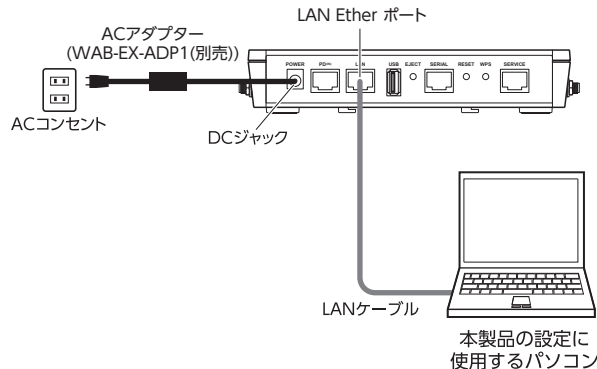


1 本製品と本製品の設定に使用するパソコンを接続します。

有線 LAN ポートを持つパソコンをご用意ください。

別売のACアダプター (WAB-EX-ADP1)を使用する場合

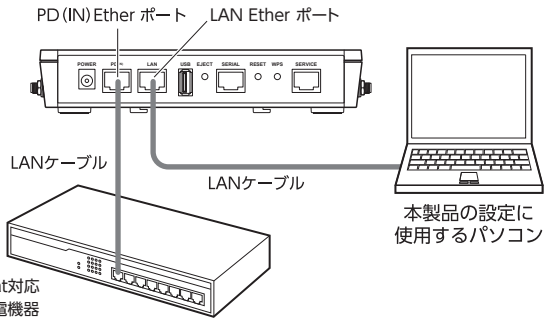
- ① 本製品のLAN Ether ポートと、本製品の設定に使用するパソコンをLANケーブルで接続します。
- ② 本製品のDCジャックに別売のACアダプター (WAB-EX-ADP1)を接続し、ACコンセントにACアダプター (WAB-EX-ADP1)を差し込みます。本製品の電源が ON になります。



- ① スタンドアローン環境で設定を行います。他のネットワーク機器を接続しないでください。

PoE給電機器を使用する場合

- ① 本製品のLAN Ether ポートと、本製品の設定に使用するパソコンをLANケーブルで接続します。
- ② 本製品のPD (IN) Ether ポートとIEEE802.3at対応PoE給電機器をLANケーブルで接続します。本製品に電源が供給されます。



- ① 802.3at対応PoE給電機器は、本製品のPD (IN) Etherポートに接続してください。本製品に電力が供給されます。
- ・本製品とPoE給電機器を接続するLANケーブルには、必ずCAT5e以上の4対UTPを使用してください。
- ・802.3afのみ対応給電機器で給電を行うと、本製品は正常動作いたしません。

2 本製品の設定に使用するパソコンのネットワークを設定します。

本製品の設定に使用するパソコンのネットワークを次のように設定します。

IPアドレス	192.168.3.2
サブネットマスク	255.255.255.0

- ① 固定 IP アドレスで接続するため、本製品を他のネットワークに接続しないでください。
- ・本製品は、DHCP サーバーから IP アドレスを取得していない場合、IP アドレスが「192.168.3.1」に設定されます。
- ・本製品の無線機能と IP アドレスの工場出荷時の設定値は、次のとおりです。

無線機能	無効 (設定画面から有効にします)
IPアドレス	DHCPサーバーから自動取得

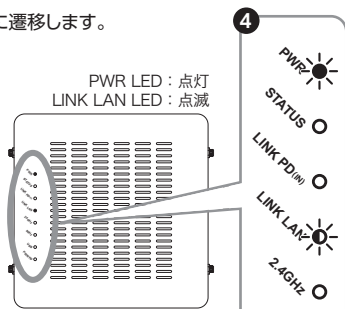
3 本製品と本製品の設定に使用するパソコンが正しく接続されたかを確認します。

別売のACアダプター (WAB-EX-ADP1)を使用する場合

電源投入後、本製品のLEDは以下のように遷移します。

- ①全LEDが点灯または点滅します。
- ②全LEDが消灯します。
- ③LINK LAN LEDが点灯または点滅し、STATUS LEDが点滅します。
- ④起動完了後、PWR LEDが点灯、LINK LAN LEDが点滅、STATUS LEDが消灯します。

本製品のLEDの状態が④になっていることを確認します。

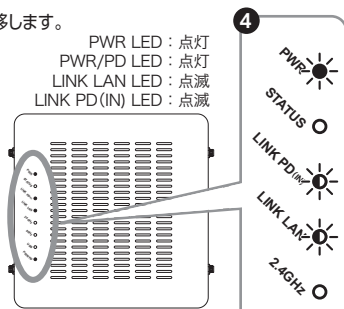


- ① STATUS LEDは、起動時に点灯し、起動が完了すると消灯します。
- ・本製品の電源が ON になってからこの LED の状態になるまで、約 30 秒かかります。
- ・STATUS LED 点灯中に絶対に電源を切らないでください。故障の原因となり、場合によっては起動しなくなることがあります。

PoE給電機器を使用する場合

電源投入後、本製品のLEDは以下のように遷移します。

- ①全LEDが点灯または点滅します。
 - ②全LEDが消灯します。
 - ③LINK LAN LEDが点灯または点滅、PWR/PD LEDが点灯、STATUS LEDが点滅します。
 - ④起動完了後、PWR LED・PWR/PD LEDが点灯、LINK LAN LEDとLINK PD (IN) LEDが点滅、STATUS LEDが消灯します。
- 本製品のLEDの状態が④になっていることを確認します。



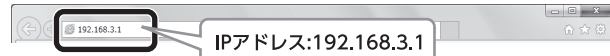
- ① STATUS LEDは、起動時に点灯し、起動が完了すると消灯します。
- ・本製品の電源が ON になってからこの LED の状態になるまで、約 30 秒かかります。
- ・STATUS LEDは点灯中に絶対に電源を切らないでください。故障の原因となり、場合によっては起動しなくなることがあります。
- ・PWR/PD LEDが点滅している場合は、PoEの給電電力が不足しています。802.3at対応機器から給電を行ってください。

STEP 2

本製品の設定画面で無線を有効にする

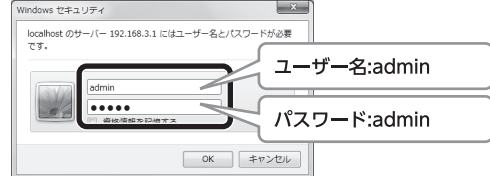
1 設定画面へアクセスします。

- ① Web ブラウザ (Internet Explorer など) を起動し、アドレスバーに次の IP アドレスを入力します。

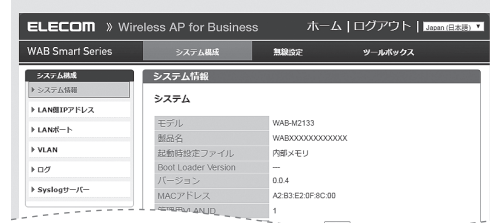


パスワード入力画面が表示されます。

- ② ユーザー名とパスワードに「admin」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

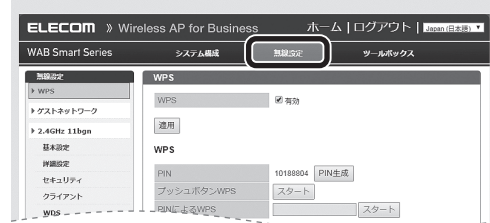


設定画面が表示されます。

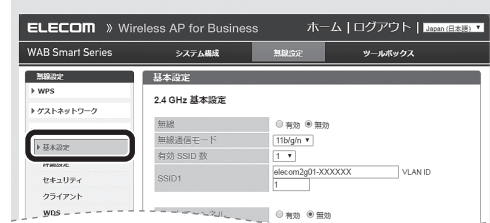


2 無線を有効にします。

- ① 設定画面で[無線設定]をクリックします。

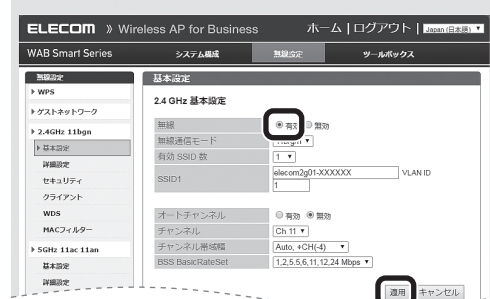


- ② 使用する無線モード (2.4GHz 11bgn または 5GHz 11ac 11an) の[基本設定]をクリックします。

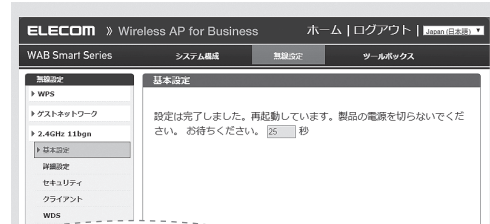


※画面例は、[2.4GHz 11bgn] の場合です。

- ③ [無線設定] の[有効]をクリックして選択し、[適用] ボタンをクリックします。

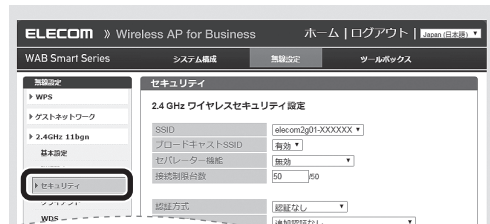


カウントダウンが始まりますので、しばらくお待ちください。本製品が再起動されると、設定は完了です。



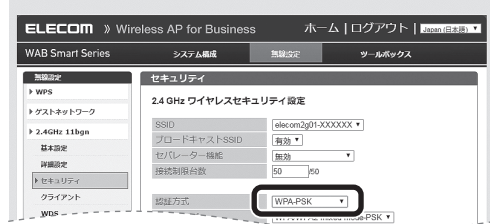
3 無線のセキュリティを設定します。

- ① 使用する無線モード (2.4GHz 11bgn または 5GHz 11ac 11an) の[セキュリティ]をクリックします。



※画面例は、[2.4GHz 11bgn] の場合です。

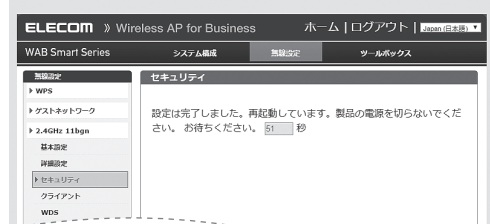
- ② [認証方式] から[WPA-PSK]を選択します。



- ③ [Pre-sharedキー] に半角英数8~63文字以内でキーを入力し、[適用] ボタンをクリックします。



カウントダウンが始まりますので、しばらくお待ちください。本製品が再起動されると、設定は完了です。



- ・本製品の詳細を設定する場合は、弊社ホームページに掲載しておりますマニュアルを参照してください。
- ・設定画面を終了する場合は、Web ブラウザーを閉じてください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

2.4GHz帯使用の無線機器について

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の調理器具・産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) 及び特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、弊社サポートセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等 (例えば、パーティションの設置など) についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

電波法によりW52、W53を屋外で使用することは禁止されています。